

2025 PARTICIPANTS GUIDE



FIM MiniGP JAPAN SERIES

2025 FIM MiniGP Japan Series 競技規則



P-UP World



FIM MiniGP JAPAN SERIES

PARTICIPANTS GUIDE

2025 FIM MiniGP Japan Series エントリーマニュアル

- P.03 競技会の名称及び開催日程 / シリーズ戦 概要 / 参加規程 / 保険制度/参加料
- P.04 安全装備
- P.05 定員及びグリッド / 申込方法 / 2025年度スポット申込み締切日/申込時の注意点
- P.06 賞典について / 固定ゼッケン / シリーズポイント制度 / シリーズランキング決定基準 / シリーズランキング上位者特典

2025 FIM MiniGP Japan Series 競技特別規則

第1章 総 則

- P.07 第1項 主催者の権限と参加者義務
- P.08 第2項 損害補償

第2章 競技規則(競技のルール、罰則)

- P.09 第1項 競技基本規則 車載カメラ/選手受付/ブリーフィング/予選/スタート/完走定義
- P.13 第2項 安全確保とペナルティ
- P.15 第3項 競技中の車両修理とマシントラブル時の取り扱い
- P.15 第4項 レース中の重大アクシデント
- P.15 第5項 ライダーの健康管理 と適合性

第3章 車両規則

- P.16 第1項 車両規定

その他

- P.18 よくあるご質問
- P.19 開催コースガイド
- P.22 公式シグナルについて

改 訂

Ver.4.1 第2章 競技規則(競技のルール、罰則) 12.大会開催時のコースインの際を追加 (14ページ)
一部文章の修正



FIM MiniGP
JAPAN SERIES

1) 競技会の名称及び開催日程

競技会名称

2025 FIM MiniGP Japan Series

開催日

第1戦 2025年 4月 6日 (日) 筑波サーキット コース1000
第2戦 2025年 5月 18日 (日) MotoUP桶川スポーツランド
第3戦 2025年 6月 29日 (日) 筑波サーキット コース1000
第4戦 2025年 7月 27日 (日) 近畿スポーツランド
第5戦 2025年 9月 7日 (日) MotoUP桶川スポーツランド

2) シリーズ戦 概要

シリーズ戦のFIM MiniGP Japan Seriesは、全5戦 10レースに渡って行なわれる年間シリーズ戦です。
ラウンド毎の取得ポイントの合計により、年間ランキングを決定します。MotoGPのチャンピオンシップと同じような形式です。
年間ランキング上位入賞者は、その年度に開催が予定されている『MiniGP World Final』に参加する権利が与えられ『MiniGP World Final』の勝者には次のステップとなる『Road to MotoGP』のプログラム選考会参加または、直接の参戦が提供されます。
2025年度は「筑波サーキット コース1000」「MotoUP桶川スポーツランド」「近畿スポーツランド」において、全5戦10レースを予定しております。シリーズ戦は年間エントリー15名とスポットエントリー最大3名で行います。
競技車両はOHVALE(オーバーレ)GP-O 160を主催が整備・点検をしたものを各選手へ各戦入れ替えてレンタルします。
競技車両の管理・整備は主催者側より専任メカニックが配置され3台の車両に対し1名が管理・整備をします。

3) 参加規程

- ・MFJエンジョイライセンス以上を取得しているまたは、参加前に受講をする方。
- ・参加資格は10歳～14歳（2025年4月6日時点で10歳以上であること、2025年12月31日時点で14歳以下であること）
- ・レース経験者であり参戦歴を参照の上、運営事務局にて選考をします。
 - ※ 転倒時、一人で車両を起こして移動できることが必須
 - ※ 親権者（保護者）の同伴が必要。同伴者が親権者でない場合は、その方への委任状が必要。
 - ※ 条件を満たさない場合、参加受理後でもレース参加をお断りさせていただきます。
- ・レースの参加にあたり主催者指定のライディングギアをご用意または購入またはレンタルし安全装備を統一する。
- ・レース参加にあたり、その危険性及び補償の限度について、家族（親権者又は親族）の了承を得ていることを条件とします。
- ・成人の方のピットクルー（MFJピットクルーライセンス所持者）を1名同伴できる方。
- ・本規則書を全て理解、了承し、「フラッグの意味」を熟知していること。
- ・上記に加え、親権者(保護者)同伴が必要です。またこの場合、親権者(保護者)が責任を持って指導することを条件とします。

4) 保険制度「スポーツ安全保険」

詳細は運営サイト参照

**スポーツ安全保険は加入団体毎の保険であり、
他の団体でスポーツ安全保険に加入している方も別途掛け金が必要です。**

【加入方法】

年間エントリーの際、MFJ競技エンジョイライセンス以上及びピットクルーライセンスにはスポーツ安全保険掛け金が含まれております。
大会が開催されるサーキット保険はエントリー料に含まれ主催者により加入し、支払われております。

5) 参加料

- ・主催者にて選考された選手には参戦件が与えられ参加規程に同意しエントリー登録を行う。
- ・【年間参戦】年間全5戦10レース 330,000円 (税込)
- ・【スポット参戦】1スポット参戦 88,000円 (税込)（レーシングスーツレンタル含む）
（年間参戦者は各大会にて車両レンタル代・タイヤ1セット・保険料・車両整備費用 ※転倒修理パーツ別途）
- ・転倒パーツの制限・・・年間参戦者には転倒パーツとしてハンドルバー、レバー類左右2セット、ステップ左右2セット、カウル左右2セット、シートカウル2セットを主催者の負担としこれを超えるものは参戦者が実費を負担する。
- ・年間参戦エントリー代金の支払いは、期日までに330,000円(税込)を指定の口座に振込で支払う。
- ・スポット参戦の方は参加受理後に88,000円(税込)を指定の口座に振込で支払う。
- ・主催者による判断で天候不良や災害、社会情勢などにより大会が中止となった時は参加料は返済される。
- ・参加者による辞退は、参加登録後、参加受理後の辞退は如何なる場合であっても返金されないものとする。

6) 安全装備(ライディングギア)

- ・ライダー装備(いずれも、著しく損傷、劣化しているものは使用不可、MFJロードレース競技規則を推奨。)
 - ・レーシングスーツ、ブーツ、グローブはロードレース用皮革製品もしくは皮革と同等の素材のものとする。
 - ・レーシングスーツはMFJ公認のものとする。肩、肘、腰、膝部にプロテクター(パッド)等の緩衝材が取り付けられていること。
 - ・MFJに登録されているエアバック使用(着用)を義務とする。
 - ・脊柱プロテクションの装着が義務付けられる。脊柱プロテクションは、レーシングスーツに内蔵されているもの、別体式に関わらず、以下の仕様を推奨。プロテクションの外側は硬質の樹脂製で内側は衝撃緩衝の素材であり、後背部の頸の付け根から腰、幅は脊柱を中心に全幅最低150mmの範囲を覆うものとする。
 - ・胸部を保護するモーターサイクル用 チェストガード(チェストプロテクター)の装着を義務とする。
 - ・脊柱プロテクションはCE規格「EN1621-2」、チェストガードはCE規格「EN1621-3 (Level1またはLevel2)」適合品の使用とする。
- (2021年MFJは前記CE規格適合品使用を義務化)
- ・ヘルメットは、MFJ公認のロードレース用フルフェイスとする(公認用品は、MFJのサイト (<http://www.mfj.or.jp>) にて公示されています)。ヘルメットリムーバーの装着を義務とする。
 - ・ヘルメットにはウェアラブルカメラ、市販時と異なる後付ディフューザー等一切の装着が禁止される。
 - ・グローブは最低50mmレーシングスーツの袖口と重なり合う長さのものとする。
 - ・ブーツ素材は硬質の樹脂等も認めるが、最低70mmレーシングスーツの足首部と重なり合う長さのものとする。
 - ・主催者により装具の種類・メーカーを指定する。装具品は毎戦点検・検査を行います。検査長・メーカー判断により使用不可の物は参加できません。

※推奨ヘルメット・・・アライヘルメット RX-7X(経年劣化がなく外傷がないもの) 推奨レーシングスーツ・・・RSタイチ GP-ONE R023 特別サポート購入価格133,550円(税込) レンタル価格(全5戦) 65,000円(税込)

	必須 装備品		MiniGP参加者特別特価販売品
ヘルメット	★	アライヘルメット RX-7X	30,800円(税込)
レーシングスーツ	★	NXL023 GP-ONE YOUTH RACING SUIT (購入)	146,905円(税込)
		NXL023 GP-ONE YOUTH RACING SUIT (レンタル)	65,000円(税込)
	★	NXT050 KID'S GP-ONE レーシング グローブ	4,290円(税込)
		NXT053 GP-X レーシング グローブ	7,700円(税込)
		NXT056 GP-WRX レーシンググローブ	11,550円(税込)
	★	NXV015 ニー スライダー	3,465円(税込)
	★	NXV018 HELINX レーシング チェストプロテクター	3,300円(税込)
	★	NXV019 ステルス CE バックプロテクター	6,875円(税込)
		NXV311 CE フレックス バックプロテクター	10,890円(税込)
	★	NXU915 TAICHI インナーズーツ (120/130/140)	4,675円(税込)
		NXU915 TAICHI インナーズーツ (XS~)	4,950円(税込)
		NXU916 ウインドストップ インナーズーツ	9,350円(税込)
		NXR003 レーシング レインズーツ	9,350円(税込)
		RSC001 ヘルメット リムーバー	1,210円(税込)
装備品			



GP-ONE YOUTH RACING SUIT



RX-7X

KID'S GP-ONE
レーシング グローブ

ニー スライダー

HELINX レーシング
チェストプロテクターステルス CE
バックプロテクター

インナーズーツ

※ エアバックは貸出支給いたします。

7) 定員及びグリッド

主催により選考登録された年間参戦選手15台及びスポット参戦枠最大3台の合計最大18台とする。

決勝グリッドは予選タイムアタックにより決定。（予選が2回ある場合には、1回目予選順位をレース1グリッドとし2回目予選をレース2グリッドとする。）但し、公式予選の計測タイムが1番手タイム107%以上である選手は決勝レースの安全確保の観点から決勝レースへは出場出来ないものとする。（予選落ち扱い）

8) 申込方法

【年間エントリー参戦】

2025年1月10日までを1次選考の締切とし、年間エントリーフォームにてご応募してください。
選考審査を致します。

【スポット参戦】

公式ホームページのスポットエントリーフォームにて受付致します。



<https://www.minigp.jp>

主催者より選考された選手は参戦規定に同意の上、参戦登録へと進む権利を有します。
運営事務局より申請手続きのご案内を連絡いたします。

9) 2025年度スポット申込み締切日

2025年スケジュール	第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦
開催日 ※1大会2レース	4月6日(日)	5月18日(日)	6月29日(日)	7月27日(日)	9月7日(日)
開催地	筑波サーキット コース1000	MotoUP 桶川スポーツランド	筑波サーキット コース1000	近畿スポーツランド	MotoUP 桶川スポーツランド
締切日	2月29日	3月31日	5月31日	6月30日	7月31日

10) 申込時の注意点

- ・エントリー受理後にMiniGP事務局より指定の参加申込書一式が郵送いたしますので必要な項目を記入の上、期間内に返送してください。
- ・参加申込書は、必ず2025年度版フォームをご使用ください。
- ・参加規定に同意し申込時には親権者同意書及び誓約書を提出してください。
- ・主催者は、全ての参加者、同行者の肖像権およびその参加車両の音声・写真・映像等を、放送・放映・出版（ビデオ/CD-ROM/DVD等）および電子メディア（インターネット等における放送・放映など全て含む）の対象とする権限を有する。この権限を第三者が使用することを許可できる権限も有し、無断で使用、販売をすることを禁じる。また本大会の広報のために、参加者から申込時に入手した個人情報を、公式プログラム・リザルト・場内モニター・場内アナウンス等に使用し、ラジオ・インターネットなどを通じ自由に配信、使用する権限を有する。
- ・主催者は大会中に無人航空機の飛行撮影を行う行為に対して同意できる方また、同意書の提出も頂きます。
- ・申込書の誓約書に捺印をお願いします。（シャチハタ不可）必ず自署をお願いします。未成年者の親権者印鑑証明書、実印による承諾書提出は必要です。
- ・申し込みは、書類、お支払いとも締切日必着を厳守のこと。
- ・申込期間内にお申し込みいただいたエントリーでも参加料の不足、参加申込書不足など、不完全な状態の場合は失効になる場合がございます。
- ・年間エントリーの選手は、ゼッケンナンバーの希望を受け付けます。希望ゼッケンは2番～16番までの数字とします。ご希望にそえない場合もありますことをあらかじめご了承ください。
- 希望が複数あるゼッケンナンバーは事務局にて抽選を行います。希望のない方は事務局にてランダムに指定します。
- ・郵送による申込が受理されると、開催10日前までに参加受理書が発行されます。開催10日前までに届かない場合、主催者に連絡してください。
- ・参加申し込み時に選手のMFJエンジョイライセンス以上の所持の有無及びピットクルー登録（ピットクルーライセンス）有無を記載してください。

【郵送による申込先】〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター11階

株式会社 P-UP World 『MiniGP事務局』宛 電話番号 :03-3870-0099

12) 固定ゼッケン

- ・年間エントリーの選手は、ゼッケンナンバーの希望を受け付けます。希望ゼッケンは2番～16番までの数字とします。ご希望にそえない場合もありますことをあらかじめご了承ください。
- ・希望ゼッケンナンバーは第1希望と第2希望まで受け付けします。
- ・希望が複数あるゼッケンナンバーは事務局にて抽選を行います。第一希望・第二希望ともに叶わなかった時は事務局でランダムに指定されます。
- ・希望のない方は事務局にてランダムに指定します。
- ・継続参戦をする場合は原則ランキング順でのゼッケンナンバーとします。

11) 賞典について

FIM MiniGP Japan Series 各レース入賞1位から3位までに正賞、副賞を授与します。

表彰式には、1位～3位の選手が参加してください。必ず選手本人が出席して下さい。無断の欠席・代理人出席の場合、正賞、副賞の権利を放棄したと判断させていただきます。代理人の賞品受け取りも出来ません。状況により表彰式は行わず、各自の賞品引き取りになる場合があります。引き取りがなき場合、正賞、副賞の権利を放棄したと判断させていただきます。

2025 FIM MiniGP Japan Seriesポイントランキング大会賞金は以下の通りとする。

1位 100万円 / 2位 50万円 / 3位 20万円

【表彰式欠席の正賞副賞の受取りについて】

やむをえない事情により表彰式を欠席し、正賞副賞の受取りを希望する場合は下記①②から選択。

手続きした方のみ正賞副賞をお渡しできます。手続きはレース結果確定後、必ず入賞者本人が所定の「賞品受取申請書」に直筆記入し主催者に提出する。締め切りは表彰式開始前までとする。締め切り後のメール等による申請不可。申請なき場合、賞品受け取り権利は消滅します。但し、入院等の場合、主催の判断で対応することがある。

① 宅急便送料着払いにて発送

② 次戦開催時、サーキットにて受け取り。次戦参加できない場合、賞品受け取り権利は消滅します。

13) シリーズポイント制度

シリーズランキング対象は、出場台数に関わらず、スプリントは決勝完走者12位までにランキングポイントを与える。ポイントは完走者に対して与え、失格者は対象外である。

【完走者の定義】

- ・優勝者の周回数75%(小数点以下切り捨て)以上を走行したライダーとする。
- ・シリーズ全戦の合計ポイントにより、シリーズランキングを決定します

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
ポイント	20	17	15	13	11	10	8	6	4	3	2	1

14) シリーズランキング決定基準

- ・総合得点の多い者から順位を決定する。最終戦終了時で同ポイントの場合、以下の優先基準でランキングを決定します。
- ・年度内に参加台数による不成立が2回あった場合、ランキング不成立とします。

① 最終戦までの上位入賞者をランキング上位とする

② ①で決定できない場合は上位順位獲得回数によって決定する

③ ②で決定できない場合は最終戦に近い成績結果の上位入賞者を上位とする

15) シリーズランキング上位者特典

- ・2025 MiniGP Japan Seriesポイントランキング1位と2位は2025 FIM MiniGP World Final へ参加出来る資格を有する。※状況により条件が変更にある場合がございます。
- ・2025 FIM MiniGP World Final にて総合結果1位・2位・3位のいずれかを獲得した選手は希望により2026年度主催者よりサポート契約を受ける事が出来る。



モータースポーツには危険が伴います。
また、その危険性及び補償の限度について、家族(親権者)の了承を得ていることを条件とします。
参加者は、レース参加にあたり、本規則書を全て理解、了承し、「フラッグの意味」を熟知していること。

第1章 総 則

本シリーズはMFJ承認競技会として、FIM MiniGP Japan Series規則およびMFJ国内競技規則に準拠した本大会特別規則を基に開催される。

第1項 主催者の権限と参加者義務

1. 主催/事務局

株式会社P-UP World (〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター11階)

2. 運営

株式会社Moto-UP (〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉4丁目25-1)

3. 主催者の権限

- ・主催者は、運営に関する全ての権限を有する。
- ・主催者は、申込者に対して理由を明かすことなくその参加を拒否することができる。また、大会秩序を乱す行為を行なった者に対しては、開催当日参加を拒否することができる。
- ・主催者は、全ての参加者、同行者の肖像権およびその参加車両の音声・写真・映像等を、放送・放映・出版（ビデオ/CD-ROM/DVD等）および電子メディア（インターネット等における放送・放映など全て含む）の対象とする権限を有する。この権限を第三者が使用することを許可できる権限も有し、無断で使用、販売をすることを禁じる。また本大会の広報のために、参加者から申込時に入手した個人情報を、公式プログラム・リザルト・場内モニター・場内アナウンス等に使用し、ラジオ・インターネットなどを通じ自由に配信、使用する権限を有する。
- ・主催者は、施設内物品販売に関する権限を有し、第三者が無断で物品販売をすることを禁じる(施設常設販売物除く)。
【補足】物品販売可能な個人、団体は主催者が許可した方のみです。無断販売を発見した場合、規定の料金をお支払いいただきます。
- ・主催者は、施設内広告宣伝行為に関する権限を有し、第三者が無断で広告宣伝行為をすることを禁じる。(施設常設掲示物除く)

4. 参加者の義務

- ・参加者は競技するにあたって自己責任に徹しなければなりません。
- ・参加者は本競技規則を遵守することはもとより、公式通知にて指示された内容についても遵守することを義務づける。
- ・参加者は心身ともに健康で競技中アルコール、興奮剤等を摂取してはならない。麻薬、シンナー、ステロイド剤等の影響下にあってはならない。
- ・世界アンチ・ドーピング機構が指定した禁止薬物を使用してはならない。
- ・下記行為を禁止する。無断で本イベント参加者・来場者等不特定多数を対象にしたイベント開催、物品頒布による広告行為、募金行為、写真販売等の営利行為。偽計を用いて主催者公認行為と誤認せしめ個人で協賛を募り、頒布する行為。弊社の信用を害する虚偽の事実を告知し、又は流布する行為。(SNS上を含む) 信用棄損に対しては法的措置も辞さない。
- ・参加者は、主催者、運営者、大会関係者に対して暴言を吐いてはならない。
- ・ピットクルーは、競技中及び練習走行中、コース内に立ち入ってはならない。競技役員の指示に従わず、コース内に立ち上がった場合、対象となったライダー本人に失格を含むペナルティを課す。
- ・ピットクルーは各自で傷害保険に加入してください。主催者はピットクルーの死亡、負傷の補償はいたしません。また、主催者は一切の責任を負いません。

5. 参加者の不正行為による代理人の出走

競技へは、登録者のみ参加を認める。不正な行為等により、登録者以外を走行させた場合、関係者及び本人は、主催者と参加者間の信頼関係を著しく失墜させた責任として、参加料の倍額を納めること。この費用は、他の大会参加者に対する説明費用の一部に充てられる。また、不正走行した者に対して見舞金制度は適用しない。

6. 駐車場の使用

- ・主催者は協賛出店に関して優先的に区画確保をすることができる。
 - ・参加者への駐車スペースは指定場所以外は使用することができない。
- 事務局より参加受理書と同時に指定駐車券を送付いたします。

7. 違反行為に対する罰則

- ・大会中の違反行為に対しては、審査委員会の権限で下記の罰則（以下、ペナルティと記す）を課することができる。また、ペナルティに関しての抗議は、一切受け付けない。
- a) 警告 b) 順位、タイムの加算、周回数の減算、ストップアンドゴーなど、成績に対する罰則 c) 失格 d) 次戦出場停止
- ・ライダーまたはその関係者による競技役員に対しての暴力的な言動に対して、失格のペナルティが課せられる。

第1章 総 則

8. 抗議

- ・抗議ができる権利を持っているのは当該レースに参加し、抗議内容の当事者ライダーのみであり、他者からの抗議は一切受け付けない。抗議する場合はいかなる内容も文書によって申し立てし、暫定結果発表後 30 分以内に抗議保証金 10,000 円を添えて提出すること。なお、この保証金は抗議成立の場合のみ返還し、抗議不成立の場合は返還されない
- ・運営者または申立人は抗議に対する判断および裁定は大会審査委員会に一任する。
- ・大会審査委員会の裁定の内容は、当該者への通達時に説明する。運営上、説明を始める前に時間を定めて行なわれ、最大 10 分とする。
- ・正式抗議に対して下された裁定に対しては、一切抗議することはできない。

9. 大会中止の場合

- ・雨天の場合においてもレースは開催する。コース使用不能等の理由で大会中止の場合は、当日、現地にて決定をする。
- ・上記のような理由により大会を中止する場合、参加料を後日返金するが、既定の金額以上の補償はしない。

10. 本競技規則の解釈

競技規則の解釈及び判断に混乱が生じた場合、本競技規則およびMFJ国内競技規則に基づいた大会本部の解釈を最終決定とする。

11. 公式通知の発行

本規則に記載されていない細則、本規則発表後に生じた問題を解決するため、公式通知をもって指示することがある。公式通知は次のいずれかの方法で発表される。

- ・参加者の住所に郵送
- ・受付で印刷物を配布
- ・大会会場、掲示板に掲示
- ・ブリーフィングで指示
- ・緊急の場合は場内放送で指示
- ・事務局サイトにて告知

第2項 損害補償

1. 損害の補償

- ・ライダー及びピットクルーの死亡、負傷、車両の破損等、その損害責任は、各自が負うこと。競技中発生した損害はすべて自己責任であることを認識する。
- ・主催者及び競技役員はその職務に最善を尽くすが、大会中に生じた、ライダー、ピットクルー及び競技車両の損害に対して、一切の損害補償責任はないものとする。また、このことを参加者及びその家族が理解、承諾していること。
- ・主催者、運営者は駐車場を含む施設内で起こった事故、盗難について一切の責任を負わない。

2. 見舞金制度 ※請求方法等、詳細は運営サイトにて確認して下さい。

保険適応を申請するには必ず大会が行われている時にサーキットの医師に診断を受ける事。その場で診断を受けていない場合は保険適応は一切出来ません

2-1. 「スポーツ安全保険」

～64歳まで）死亡・・・2,000万円 後遺障害・・・3,000万円限度 入院・・・1日4,000円 通院・・・1日1,500円

65歳以上）死亡・・・600万円 後遺障害・・・900万円限度 入院・・・1日1,800円 通院・・・1日1,500円

2-2. 「筑波サーキット保険制度」

死亡・・・350万円 後遺障害・・・9～350万円（事故日より180日以内発生） 入院・・・1日5,000円

通院・・・なし（事故日より180日以内）手術給付金・・・50,000円（1事故による入院に対し1回まで）

＊いずれも治療費実費が支給される制度ではありません。従って、治療に際してはご自分の健康保険（社会保険、国民健康保険）を使用してください。＊全ての治療終了後に請求となります。支払いまで、数ヶ月かかることがあります。

2-3. 「KSL セーフティーメンバー（保険）」

死亡 2,000万円 後遺傷害 3,000万円（最高） 入院 4,000円（1日） 通院 1,500円（1日）

＊いずれも治療費実費が支給される制度ではありません。従って、治療に際してはご自分の健康保険（社会保険、国民健康保険）を使用してください。＊全ての治療終了後に請求となります。支払いまで、数ヶ月かかることがあります。

3. 負傷した場合の医療義務

- ・負傷した場合は、軽症の場合においても必ずサーキット医務室で診察を受け、事故報告書の記入をすること（診察を受けていない場合、保険金適用から除外されます）。制度を利用する場合、開催日の2日後までに主催に届出すること

第2章 競技規則（競技のルール、罰則）

第1項 競技基本細則

1. ライダー装備

1-1. ライダーはピット内移動を含めて、練習走行時点から車両に乗車するときは、下記の規則に合致した装備を常に装着しなければならない。いずれの装備も、著しく損傷、劣化していると主催者が判断したものは、使用出来ない。

1-2. 装備は MFJ 公認の安全装備規格に合致していれば、使用が認められる。ただし、主催者が推奨する下記の装備を使用することが望ましい。

- ・レーシングスーツ : RS タイチ GP-ONE R023 YOUTH RACING SUIT
- ・ヘルメット : アライヘルメット RX-7X（外装の塗装、ステッカー貼付は可）
- ・レーシングブーツ : アルパインスターズ 等
- ・レーシンググローブ : RS タイチ KID's GP-ONE
- ・チェストプロテクター : RS タイチ ヘリオスレーシングチェストプロテクター
- ・脊柱（バック）プロテクター : ステルスC Eバックプロテクター
- ・ニースライダー : RS タイチ ニースライダー
- ・インナースーツ : RS タイチ インナースーツ

1-3. すべての大会においてエアバッグを装備しなければならない。エアバッグは、自前の物も使用出来るが、自前で準備出来ない場合は、主催者が提供する指定のエアバッグを使用すること。第1戦については装備することを強く推奨するが、いずれの物を使用する場合でも、エアバッグの指定位置に主催者が指示するロゴマークを貼付していなければならない。

1-4. 競技前の点検、検査で主催者が使用不可と判断した装備品については、主催者が推奨するメーカーの物を使用すること。

1-5. 規格に合致しない、または主催者の指定に従わない装備を使用したライダーは当該大会に参加する資格を失う。

2. 開催サーキット走行ルール

・ライダートレーニングやトラック熟知時間に関しては以下の条件により行うことが出来る。

① MiniGP 開催サーキット場での練習等の活動は開催日の7日前から禁止されています。イベントやプライベートテストの参加も含まれます。

② 但し、主催者による判断で認められた場合はこの限りではない。

③ 同一開催場所において、7日前であっても非公式の練習走行を行う場合は参加者全員が対象の場合はその限りではない

④ 安全性・公平性の維持と参加しやすい大会を目指します。

※ 各開催サーキットにおいて特別競技規則がありますのでご確認下さい。

3. 車載カメラについて

- ・装備品へのウェアラブルカメラ装着は不可。
- ・主催者の指定車両以外は車載カメラの装着は不可とします。

4. 計測装置

- ・主催者により、自動計測装置の取り付けを行う。
- ・必ず選手受付を済ませた後、計測装置を受け取ること。
- ・自動計測装置本体、取り付けホルダーを破損、紛失、加工された場合、下記限度額の範囲内で参加者の弁償責任となり、施設に対してお支払いいただきます。脱落などないよう、車両への装着には十分ご注意ください。

限度額／計測器本体¥50,000(税込)、取り付けホルダー¥2,000(税込)

・自動計測システムが使用不能となった場合、システムダウンの前に確定している順位で、レース成立とし競技を終了する場合がある。

5. 選手受付、ブリーフィング

5-1. 選手受付は、当該大会当日に参加受理書、MFJ ライセンス、健康保険証（コピー可）を必ず持参して各ライダー（関係者）が行うこと。

5-2. 公式練習走行前にライダーズ・ブリーフィングを実施する。参加ライダーはこのブリーフィングに必ず参加しなければならない、参加が確認出来ないライダーは当該大会に参加することが出来ない。ライダーブリーフィングには、ライダー1名につき1名のピットクルー等の関係者が同席することが望ましい。

6. 公式シグナル

ライダーは提示される公式シグナルを確認する義務があり、そのシグナルに従わなければならない。公式シグナルに従わなかつ

第2章 競技規則（競技のルール、罰則）

6-1. 公式シグナルには下記の種類がある。

「第3章 競技規則（競技のルール、罰則）公式シグナル（ページ22）参照」

6-1-1. 公式シグナル（オフィシャルフラッグ）の種類。

- ・赤旗（レッドフラッグ） ・黄旗（イエローフラッグ） ・緑旗（グリーンフラッグ） ・黒旗（ブラックフラッグ）
- ・黒旗にオレンジの円（オレンジボール） ・赤ストライプ付黄旗・赤い斜め十字の入った白旗（レッドクロス）
- ・青旗（ブルーフラッグ） ・白旗（ホワイトフラッグ） ・チェッカーフラッグ ・ライドスルーボード

6-1-2. 重要な旗について

- ① 赤旗（レッドフラッグ）は、コース上が危険な状態と判断され、そのままでは走行が危険と判断された場合に各ポストで提示される。ライダーは低速で最大限の注意をはらい、ピットに戻らなければならない。コース上での追越しも禁止される。
- ② 上記以外でも下記の場合に赤旗が提示される。
 - ・決勝前のウォームアップラップ終了時にスターティンググリッドで提示される。
- ③ 黄旗（イエローフラッグ）は、前方コース及びコースサイドに車両や障害物その他危険な状態である場合に振動で提示される。ライダーは、いつでも停止出来る様に準備してはならない。緑旗が提示されるポストまでが黄旗区間となり、追い越しが禁止される。
- ④ 緑旗（グリーンフラッグ）は、コース規制の解除ならびに提示ポストからの黄旗の解除を示す。
- ⑤ 黒旗（ブラックフラッグ）は、提示されたライダーは速やかにレコードラインを外しながら走行して、ピットに戻らなければならない。
- ⑥ 黒旗にオレンジの円（オレンジボール）は、対象ライダー自身及び他のライダーに危険を及ぼす可能性があり、速やかにコースから外れ、安全な場所に停止しなければならない。
- ⑦ チェッカーフラッグは練習走行、予選、決勝での走行の終了を示す。この旗は、コントロールライン付近において振動提示される。

7. 練習走行、予選方式、決勝グリッド

7-1. 練習走行には、スケジュールに規定された回数内、全てのライダーが少なくとも1回以上は走行しなければならず、走行しない場合は予選以降の走行に参加することは出来ない。

7-2. 予選はタイムアタック方式により決定し、タイムの速いライダーから上位グリッドを獲得出来る。予選が2回ある場合（行えた場合）には、予選1の結果をレース1の決勝グリッド、予選2の結果をレース2の決勝グリッド位置とする。予選が1回しか行えなかった場合は、ファーストベストタイムをレース1、セカンドベストタイムをレース2の決勝グリッド位置とする。ベストタイムが同じ場合は次位のタイムが早いライダーを上位とする。

7-3. 予選時のタイムアタックの義務周回数は最低2周とし、予選開始ピットアウト後1周目のラップタイムは計測されない。ただし、トータル周回数にはカウントされる。

7-4. 大会当日、選手受付後、転倒等により予選タイムが記録されていないライダーは、主催者の判断により、賞典外にて決勝への出走を認める場合がある。

7-5. 公式予選の計測タイムが1番手タイム107%以上である選手は決勝レースの安全確保の観点から決勝レースへは出場出来ないものとする（予選落ち）

8. スタート方法

8-1. スタートはクラッチスタート方式によりライダー全員の同時スタートとする。

8-2. スタートグリッドは、予選タイムで決定した所定のグリッド位置に着くこと。

8-3. グリッドは横3台を1列とする。

8-4. 決勝レースの開始は、ピットからサイティングラップを開始し、コースを1周した後に、所定のグリッド位置に着き、マシンを停止させる。

8-5. ウォームアップラップ開始前にエンジン始動の合図に合わせて、エンジン始動（補助は可）を行う。その後ウォームアップラップ開始を示すオフィシャルによるグリーンフラッグの振動提示により、コースを1周して所定のグリッド位置に着く。ウォームアップラップ開始時にトラブルが発生したまたはエンジンストップしたマシンは、ライダーを含めてピットレーンまたは競技長と主催者が事前に決定した待避場所に、オフィシャルの指示に従い速やかに移動すること。ピットまたは待避場所でエンジンがすぐに再始動した場合は、オフィシャルの指示に従い、ウォームアップラップを開始することが出来る。ウォームアップラップを開始した先頭のライダーがグリッドに戻ってくるまでに走行開始出来ない場合は、当該ライダーはピットまたは待機場所から全ライダーがスタートした後にスタートすること。

8-6. 全ライダーが所定のグリッドに着いたことが確認された時点で、グリッド前方にいるオフィシャルにより、赤旗の提示があり、赤旗を持ったオフィシャルがコースサイドに歩いて移動し、コースを外れた時点でレッドシグナル（赤色信号）が点灯する。レッドシグナルが2～5秒間点灯され、その後レッドシグナルが消灯された時点でスタートとなる。

第2章 競技規則（競技のルール、罰則）

8-7. グリッド上で、危険が予測されるマシントラブル等が発生した場合は、当該ライダーは速やかにオフィシャルに知らせること。修復に時間を要することが分かった場合は、当該ヒートの出走を棄権すること。ウォームアップ後にグリッド上でマシントラブルやエンジンストップが発生した場合は、グリッド前方のオフィシャルにより、赤旗（レッドフラッグ）が振動提示され、同時にレッドシグナルは消灯されず、その時点でスタートは一旦中止される。トラブルが発生したまたはエンジンストップしたマシンは、ライダーを含めてピットレーンまたは競技長と主催者が事前に決定した待避場所に、オフィシャルの指示に従い速やかに移動すること。その後の再スタート方法については、競技長（オフィシャル）の指示に従って行うこと。

8-8. レース一旦中止後、オフィシャルの指示に従いレーススタートを再開する。ライダーがグリッド上に待機している場合は、ウォームアップラップから開始し、ピットレーンに戻った場合は、サイティングラップから開始する。何れの場合も、スタート進行の遅れの原因を作ったライダーは、所定のグリッドには着けず、最後尾のグリッドに着くものとする。原因を作ったライダーが複数いる場合は、所定グリッドが上位のライダーから最後尾グリッド以降のグリッドが割り当てられるものとし、降格されたライダーの所定グリッドは空きグリッドのままとする。

9. ジャンプスタート（フライング）

9-1. コース上から赤旗（レッドフラッグ）を持ったオフィシャルが退去した後、レッドシグナルが点灯してから消灯するまでの間に、マシンが前進したと確認された場合は、ジャンプスタートと判定される。

9-2. ジャンプスタートと判定されたライダーには競技結果に 30 秒加算、もしくはライドスルーペナルティーを課す。ライドスルーペナルティーをは当該ライダーに「RIDE THROUGH」ボードが提示され、ピットレーンを通過する様に指示される。ライダーはピットロード制限速度（30Km/h 以内）を厳守しなければならない、速度制限に違反した場合は、ライドスルーペナルティーの手順が繰り返される。「RIDE THROUGH」ボードが 3 回（3 周）提示されてもライドスルーペナルティーを実行しない場合、及び速度制限違反により 3 回のライドスルーペナルティーが実行されたと認められない場合は、当該ライダーは失格となる。

9-3. ライドスルーペナルティーが実行される前に赤旗中断で再レースとなった場合は、再レース開始後罰則を実施する。

9-4. ジャンプスタートの原因が明らかに不可抗力と判断された場合は、罰則を課さない場合がある。

10. ピットレーンのスピード制限とピットシグナル

10-1. 大会期間中を通じて、ピットレーンの制限速度は 30Km/h とする。このスピード制限に違反した場合は罰則が科せられる。ピットレーン上での追い越しも禁止される。

10-2. ピットレーン出口にシグナルが設置されていた場合は、そのシグナルの表示に従うこと。レッドシグナルの場合は、ピット（ピットレーン）に留まっていなければならない。

11. 走行の一時停止（赤旗提示）

主催者（競技監督）が天候上の理由、あるいはコース上に危険な状況が発生した等の理由により、走行を中断した方が良いと判断した場合は、赤旗（レッドフラッグ）振動及びレッドシグナルの提示により、走行が停止される。

11-1. 赤旗が提示された時点で、コース上にいるライダーは低速で最大限の注意をはらい、ピットに戻らなければならない。コース上での追越しも禁止される。ピットまたはピットレーンにいるライダーは、その場所で待機をすること。

11-2. 予選中に赤旗中断があった場合は、赤旗が出た時点での残り時間を走行再開後の走行時間とする。ただし、主催者（競技監督）の判断により、残り時間が少ない場合は、赤旗が提示された時点で、予選時間終了とする場合がある。

11-3. 決勝中の赤旗中断

11-3-1. レーススタート後、3 周末満で赤旗が提示された場合は、予定の周回数でレースが最初から再開される。

11-3-2. レーススタート後、予定周回数の 2 / 3 以上の周回数を半数以上のライダーがフィニッシュラインを通過していた場合は、当該レースは成立したものとする。

11-3-3. レーススタート後、3 周以上 2 / 3 未満の周回数を消化していた場合は、予定周回数から赤旗提示された時点（半数以上のライダーが通過した時点）での周回数を引いた、残りの周回数で再レースを行う。

第2章 競技規則（競技のルール、罰則）

12. 予選及びレースの終了

トップのライダーにチェッカーフラッグが提示された後、引き続き後続ライダーにも規定時間チェッカーフラッグが提示され、チェッカーフラッグ提示が終わった時点でレース終了とする。チェッカーフラッグを受けたライダーは1コーナーまでは急激な減速と進路変更はしない様に注意しながら、その後は速度を落としてピットに戻る、またはオフィシャルの指示に従うこと。

13. 最終順位決定と完走者の定義

13-1. 最終順位の決定は、以下の優先順位とする。

13-1-1. 優勝者は規定周回数を完走し、最初にフィニッシュラインを通過し、チェッカーフラッグを受けたライダーとする。以降のライダーはフィニッシュラインを通過し、チェッカーフラッグを受けた順番によりレース順位が決定される。

13-1-2. 順位決定はチェッカーフラッグが提示された時点で、コース上を走行しているライダーで完走周回数を走行し、フィニッシュラインでチェッカーフラッグを受けたライダーが優先される。フィニッシュラインでチェッカーフラッグを受けていないライダーで、完走周回数を走り終わっているライダーは、周回数の多いライダーから順番に順位を決定する。

13-1-3. 赤旗が提示されその時点でレースが成立した場合は、全ライダーの半数以上のライダーがフィニッシュラインを通過した周回数時点での順位を最終順位とする。

13-2. 完走者の定義

13-2-1. 完走者とは、規定周回数の75%（以下小数点は切り捨て）以上を走行したライダーとする。

13-2-2. チェッカー提示規定時間はトップのライダーがフィニッシュしてから1分間とし、それまでにフィニッシュラインを通過してチェッカーフラッグを受けられないライダーは、コース上を走行しての完走者とは認められない。チェッカーフラッグは、常にマシンとライダーと一緒に通過しなければならない。

13-2-3. 赤旗提示によりレースが成立した場合は、成立したレース終了時点の周回数の75%（以下少数点以下切り捨て）以上を走行したライダーを完走者とする。

14. リタイヤ

14-1. 予選または決勝を走行出来ない場合、ライダーはリタイヤ届けを大会本部（主催者）に提出すること。

14-2. 予選または決勝において、走行中に転倒またはマシントラブル等で走行の継続が困難な場合は、コースのピットロード側をゆっくり走ってピットに戻るか、ピットに戻ることが難しい場合は、コースサイドの安全な場所にオフィシャルの指示に従ってマシンとライダーを移動させること。

予選または決勝終了時点までコースサイドにライダーが留まる場合は、ライダーはヘルメットは被ったままでいること。ピットに走って戻る場合は、当該ライダーはスロー走行をしてることを他のライダーに対してアピールする為に、左手を挙げる事が望ましい。

14-3. 決勝はサイティングラップ開始が提示されてから3分以上経過してもピットアウト出来ないライダーは、そのままスタート進行が進められる。当該ライダーがウォームアップラップ開始に間に合う場合は、ウォームアップラップにピットスタートから合流出来、所定のグリッドに着くことが出来る。ウォームアップラップに出走出来ないライダーはリタイヤと見なされる。

15. ウェット及びドライレース

15-1. ウェットレースまたはドライレースは競技長及び主催者により判断され、ウェットレースの場合はウェット宣言がされる。ウェット宣言がされない場合は全てドライレースとする。

15-2. ウェット宣言された場合（練習走行含む）の走行ではレインタイヤの使用も許可されるが、タイヤ交換や使用に付いては主催者の指示に従うこと。ライダー個人の要望は認めない。

15-3. ウェットからドライに路面状況が変わった場合の、レインタイヤからスリックタイヤへの交換や変更についても主催者の指示に従うこと。ライダー個人の要望は認めない。

第2章 競技規則（競技のルール、罰則）

第2項 安全確保とペナルティ

1. 遵守事項

- ・イコールコンディション保持のため、主催者側からの指示は遵守の事。なお指示に従えない場合、競技役員の判断によりペナルティを課す場合がある。
- ・必要以上にハンドルから手を離したり、走行中の他者に触るような危険な行為をしてはならない。
- ・競技中は、いかなる場合も逆走してはならない（グラベル、ピットロードを含む）。
- ・コース上でエンジントラブル、事故等で停止した場合、ライダーは速やかにその車両をレース妨害とならない場所に移動し、安全確保に努めること。
- ・ヘルメットは、コース内（グリーン含む）で脱いではならない。必ず、ガードレールの外に出てから脱ぐこと。

2. 競技役員の指示及びフラッグ無視

- ・レース中、競技役員の指示、注意を受けた場合、各ライダーは必ず指示に従うこと。
- ・フラッグの指示に従わない場合は、下記ペナルティを課す。
- a) 警告 b) 順位、タイムの加算、周回数の減算、ストップアンドゴーなど、成績に対する罰則 c) 失格 d) 次戦出場停止
- ・ストップアンドゴーのペナルティ時、ライダー交替や給油作業等してはならない。
- ・フラッグ無視の判定は、現場競技役員の判定を基準とする。
- ・黄旗提示区間におけるフラッグ無視には、以下のペナルティを課す。下記掲載以外のペナルティを課す場合がある。

黄旗区間ペナルティ		
追い越し	順位の変更 (獲得した順位に3ポジション加算)	例) 1位 ⇒ 4位
コースアウト または転倒	タイムの加算もしくは周回数の減算	予選時: ベストタイムに1秒加算 決勝時: 周回数を1周以上減算
事 故	失格及び次戦出場停止	

3. ショートカット通路の使用

- ・スプリントの予選中は、故意にショートカット通路を通過してはならない。違反した場合、ベストラップに1秒加算し、そのタイムを予選タイムとするペナルティを課す。
- ・スプリント決勝レース中、ショートカット通路を通過してのレース復帰は認めない。リタイアと見なす。レース復帰する場合は指定コーナーから復帰すること。
- ・ショートカット通路から、コース上に復帰する場合は、必ず一旦停止し、コース係員の指示に従うこと。

4. コーナーのショートカット及びコース横断

- ・コースアウトした場合、自分に有利とならない場所からレース復帰すること。
- ・当該ライダーが有利となるショートカット（コーナーのコース外を走行）について、予選時は当該ラップタイムの抹消、決勝時はレース結果に30秒以上加算のペナルティを課す。

5. 妨害行為及び危険行為

- ・妨害行為及び、危険行為判定に対する抗議は、一切認めない。違反者はペナルティが課され、走行が適当でないと競技長が判断したライダーは失格とする。
- ・競技中、故意に他の車両の走行を妨害してはならず、明らかに重大な事故の発生が予測できる危険な行為を禁止する。
- ・コーナーは先入優先とし、追い抜きをする者は前方の車両の走行を妨害してはならない。また前方の車両は、後続車の進路を妨害してはならない。
- ・前車を追い越す目的以外での、進路変更を禁止する。
- ・直線部分での、蛇行、幅寄せ等を禁止する。
- ・他の選手にペナルティを与える目的で、故意に追い越しをさせる行為（無意味な急制動等）をしてはならない。また、そのような行為を回避するための追い越しは、ペナルティの対象外とする。

第2章 競技規則（競技のルール、罰則）

6. ピット及びピットエリアの使用

- ・ピットは、コース上競技実施されている当該クラスの者のみが競技前後の時間を含め使用できる。特定の個人、チームが一日占有使用することを禁じる。
- ・主催者からピットの割り当て指定をする。スプリント決勝後は最終コーナー側ピットより、上位入賞車両の車両保管に使用する。
- ・自己のピット前（ピットエリア）以外での、部品交換、修理、燃料補給、ライダー交代を禁止する。競技中、ピット内にマシンを入れた場合、リタイヤ扱いとなる。但し、荒天時はこの限りでなく、都度指示をする。
- ・ピットエリア、サインエリアでの、部品や工具の常設を禁止する。
- ・作業の際は、3名以内で行なうこと。
- ・ピットサインは、各チーム1人で行い、サインエリア、もしくはピットエリア内からのみ掲示できる。ピットロードでのサイン掲示を禁止する。
- ・ピット内及びピットエリアは、火気厳禁、禁煙とする。
- ・ピットエリア、サインエリア立入の際、サンダルばき、上半身裸身は禁止する。

7. レース放棄

- ・レース中、パドック・駐車場に進入した車両はレースを放棄したものとみなし、再度コース復帰は認めない。

8. ピットロードでの禁止事項

- ・ピットロードのスピード制限は30 km/h以内とする。この制限速度に違反した場合、当該ライダーにストップアンドゴー、もしくは30秒加算のペナルティを課す。また、ピットロード上での追い越しは禁止する。
- ・ピットロード上での作業、ライダー交代は禁止する。ピットエリア内で行うこと。
- ・ピットロード及びピットエリアの逆走を禁止する。違反した場合、2周減算のペナルティを課す。
- ・ピットロードは、ピットインしてくる車両に優先権があるものとする。
- ・ピットロードを徒歩により横切の際は、競技車両の通過を最優先し、その動きを妨げてはならない。

9. ピットアウト

- ・ピットアウトするライダーは、安全確認を行いコースに復帰すること。
- ・ピットロード出口は競技役員によってコントロールされており、進入不可の指示の場合、コースインしてはならない。
- ・コースに復帰するライダーは、コースイン直後にレーシングラインを走行してはならない。第1コーナー出口まで、コースのピットロード側を走行し、後方から来る車両の走行を妨げてはならない。

10. ピットイン

- ・ピットインするライダーは必ず手または足を出して合図をし、安全を確認してピットロードに進入、徐行すること。
- ・ピットインの際、ピットロード入口直前で、急激にコースを横切りピットインしてはならない。あらかじめ、コース上のピットロード入口側を走行すること。
- ・自己のピット前を通り越して停車した場合、逆走してはならない。必ず降車し、車両の向きを変えずに、自己のピットまで押して戻ること。

11. ダブルチェッカー

競技開催中の走行においてフリー走行、予選、決勝レースの終了を知らせるチェッカーフラッグを見落すと、前車スロー走行車両に追突、接触などにより重大事故になりかねません。

ライダーは各フラッグを常に確認し遵守すること。

ダブルチェッカーについては下記ペナルティを与える。

- ・1回目 訓戒
- ・2回目 レースグリッド3ポイント減算
- ・3回目 失格

12. 大会開催時のコースインの際

ホワイต์ラインをはみ出した場合下記のペナルティを与える。

厳重注意またはライドスルー

第2章 競技規則（競技のルール、罰則）

第3項 競技中の車両修理とマシントラブル時の取り扱い

1. 車両修理とコース上でのマシントラブル

- ・転倒等により、マシントラブルが発生した場合は直ちにピットインし、ピットエリアで修復作業すること。
- ・自走が可能であっても、オイル、ガソリン等を漏らしている場合は、コース上から速やかに車両を退去させること。
- ・スロー走行により、ピットに戻る場合は、必ずレーシングラインを外し、周囲に注意を喚起すること。
- ・転倒、マシントラブルにより、自走ではピットに戻れない場合、ポスト員の指示に従い待機すること。
- ・グリーン上を、長距離、長時間マシンを押し歩くことを禁止する。
- ・マシンを押し歩いてのコース横断を禁止する。違反した者は3周以上の減算もしくは失格とする。

2. エアバック装着時の再スタートについて

- ・公式セッションでは、エアバック装着を義務化とする。
- ・転倒時にエアバックが作動して開いた場合は、走行上危険なので再スタートが可能な状況であれば安全を確保してピットに戻り、車両確認及びエアバック交換後に再スタートを許可する。

第4項 レース中の重大アクシデント

1. 全面停止時の競技成立

- 1-1. 天候の急変や予測出来ないアクシデント等によりレース続行が危険または不可能と主催者が判断した場合は、それ以降の走行がキャンセルされる場合がある。その場合は、その後の進行について、主催者から参加者に詳細が説明される。
- 1-2. 上記理由で当該大会が途中でキャンセルされた場合や短縮された場合でも、主催者から参加者への参加料は返金しない。

第5項 ライダーの健康管理と適合性

1. 競技参加への適合性

ライダーは常にマシンを安全にコントロール出来、かつ各ポストからの指示（フラッグ等）を確認して的確に判断出来る健康状態でなければならない。安全にマシンをコントロール出来ない状態、または的確に確認出来ない健康状態であると主催者から判断された場合は、本人または他のライダーに危険を及ぼすことを理由に、当該大会への出走は認められない。

2. 脳震盪について

走行中の転倒等により意識を失った、または脳震盪の可能性があると判断されたライダーは、本人及び他のライダーへの安全性を考慮し、当該大会のそれ以降の走行は禁止される。脳震盪が疑われる場合は、医療機関を受診すること。脳震盪と判定された場合は2週間は乗車禁止とし、次大会参加時には脳震盪から回復していることを証明する医療機関の診断書を主催者に提出しなければならない。

3. 熱中症について

主催者に熱中症の症状があると判断されたライダーは、当該大会のそれ以降の走行は認められない。

4. 負傷について

転倒やアクシデント等により、走行が難しいと判断されたライダーはそれ以降の走行は出来ない。骨折等の大きな負傷が発生した場合で主催者から指示があった場合は、次大会参加時には、負傷が完治（乗車可能）していることを証明する診断書を主催者に提出すること。

第3章 車両規則

第1項 車両規定

1. 競技車両

1-1. 競技車両仕様

・競技車両は FIM MiniGP 国際規則により規定された OHVALE GP-0 160 指定車両とし、主催者にて点検、整備されたレンタル車両とする。車両には主催者により、管理車両番号が表示（貼付）される。



燃 料	ガソリン
エンジン排気量	160.00cc
エンジン詳細	ZS 4速、4ストローク、シングルカムシャフト-SOHC2バルブ
エンジン始動	キックスターター
ボア×ストローク	60×55mm
エンジンの潤滑	ウェットサンブ潤滑システム、オイル量:0.9ℓ
クラッチ	6-プレートウェットクラッチ
燃料システム	キャブレター:KF-PZ 27
点火	電子式、外部スパークプラグおよびコイル
駆動列	一次ドライブ:ギア 二次ドライブ:ウェットサンブ潤滑システム、オイル量:0.9ℓ
フォーク	Φ33mm倒立

1-2. ライダーへの車両割り当て

・第 1 戦については、主催者により指定された番号の車両が割り当てられる。第 2 戦以降については、前戦の第 2 レースの決勝結果を反映した割り当てとする。

※当該大会の割り当て車両は前戦第 2 決勝結果を反映して下記とする。

※スポット参戦ライダーについては、主催者により指定された車両が割り当てられる。

前戦大会	1位選手使用車両	2位選手使用車両	～	15位選手使用車両
	↓	↓		↓
前戦大会	15位選手に割り当て	14位選手に割り当て	～	1位選手に割り当て

2. 車両の交換

2-1. 主催者が必要と認めた下記の条件に限り、車両の交換（変更）を認める。

2-1-1. 車両の性能や機能が、他の車両に対してに著しく不利である、または走行に危険性を伴う不具合があると主催者が判断した場合は、予選開始前までに車両交換が指示される場合がある。

2-1-2. 転倒等で車両のダメージが大きく、修理を行ってもその後の走行に支障を来たと主催者が判断した場合。但し、ライダーの故意による転倒または危険であると判断される走行で車両が破損した場合は対象外とする。

3. 車両の整備

3-1. 主催者は全ての競技車両を同一コンディションに保つために、メーカーマニュアルに従った点検、整備を専属メカニックが実施した状態で、フリー走行前にライダーに引き渡す。上記作業を行う事で、競技前の車両検査は実施されたものとする。

3-2. 国際ルールに基づき、主催者によりエンジンは封印されており、当該大会での分解、整備は禁止される。

3-3. 専属メカニックが行える作業

3-3-1. エンジンの始動の補助

3-3-2. チェンジペダル位置調整、ブレーキ/クラッチレバーの位置と高さ調整、ブレーキペダル高さ調整、ハンドル位置等のライダーに合わせたポジション調整は、予選開始前までは許可される。ただし、転倒等での修復作業での再調整及び主催者が車両交換を認めた場合は、予選開始後でも認められる。

3-3-3. フロントサスペンション突き出し量調整、リヤサスペンションのプリロードおよびテンション・コンプのダンパーアジャスター調整は、ライダーの身長や体重を考慮し、専任メカニックが必要と判断した場合に限り、規定の範囲で行う事が予選開始前までは許可される。

3-3-4. タイヤ空気圧はライダーにより温間温度が変化する可能性があるため、予選終了時点まで規定の範囲内（管理幅 0.2Kpa）で調整出来る。決勝 2 レースは同じタイヤ空気圧で走行しなければならない。ただし、天候の急変等で主催者により調整が必要と判断した場合を除く。

3-3-5. 転倒等による部品の破損や機能上の不具合が発生した場合は、部品の交換及び調整が行われる場合がある。

第3章 車両規則

3-4. ピットクルー（ライダー登録メカニック）が行える作業

3-4-1. ピットクルーは下記に記された作業以外は車両に触ることは出来ない。

3-4-2. ピットクルーが行える作業

- ・主催者が指定したタイヤウォーマーの脱着
- ・主催者が供給する指定された燃料（ガソリン）について規定量の給油
- ・車両の部品を脱着しない範囲での車両清掃。
- ・ただし、専任メカニックより指示や許可がある場合は、指示や許可のあった項目に限り、ピットクルーが作業を行うことが出来る。

4. タイヤの取り扱い

4-1. 競技車両に使用されるタイヤは主催者が指定するタイヤを使用しなければならない。

指定タイヤ：ピレリ DIABLO SUPERBIKE

4-2. 当該大会で使用する新品タイヤは 1 本を基本とし、練習走行は前大会で使用したタイヤで走行し、予選前に新品タイヤへの交換を行う。タイヤ交換は練習走行終了後から予選開始前までに専属メカニックにより交換される。ただし、全大会でタイヤトラブルや転倒等があり、タイヤが継続使用出来ない、または車両交換で新しいマシンを使用する場合は、主催者の判断により練習走行での新品タイヤの使用を許可する場合がある。

4-3. 天候等の変化により競技監督及び主催者により追加のタイヤ投入が必要と判断された場合は、追加のタイヤは主催側の費用により供給される。

4-4. 指定のタイヤウォーマーは使用出来るが、使用する時間、場所等は主催者の指示に従うこと。グリッド上でのタイヤウォーマーは使用出来ない。

4-5. WET 宣言時のスリックタイヤからレインタイヤへの交換、または路面状況が変化した場合のレインタイヤからスリックタイヤへの交換は、競技監督及び主催者の判断により決定され、全てのライダーに対して同時に行われる。ライダー個人の判断または要望でタイヤを交換することは出来ない。

5. 抗議

5-1. 競技車両に関して、主催者が同一コンディションを維持する様に務めますので、車両間のバラツキ、選手の操作ミスや操作スキルの違いによる競技中のマシントラブルについては、抗議は一切受け付けません。

5-2. 競技車両に関する抗議、競技終了後の再車検（車両保管）の判定についての抗議は一切受け付けません。

6. 競技終了後の車両保管

6-1. 決勝終了後、指定された車両は指示に従い車両保管場所に車両を移動させること。原則として、決勝暫定結果発表後 30 分間保管される。

6-2. 車両保管を拒否したライダーは、失格を含むペナルティを課す場合がある。

7. 競技終了後車両検査（再車検）

7-1. 競技終了後、指定された車両は再車検を受けなければならない。再車検を放棄したライダーは失格処分とする。

7-2. 競技車両に関し不具合や違反項目があった場合は、主催者による聞き取り調査には偽りなく申告しなければならず、虚偽申告及び申告拒否した場合は、再車検放棄と見なす。

7-3. 主催者及び主催者の指定する担当者以外の者が、車両保管場所に立ち入ること及び車両保管中の他選手の車両を検査することや、触ることは禁止される。

よくあるご質問

Q1. エントリー費のお支払いは、一括払いでしょうか？

A. エントリー費に関しては、一括支払いをお願いします。

年間参戦代金の支払いは、エントリー登録時に申し込み金 330,000 円をお支払いください。

主催者による判断で天候不良や災害、社会情勢などにより大会が中止となった時は参加料は返済される・参加者による辞退は、参加登録後、参加受理後の辞退は如何なる場合であっても返金されないものとする。

Q2. 開催コースでの練習が一週間前より禁止されているレギュレーションとのことですが、自分の車両での練習は可能でしょうか？

A. 開催サーキット走行ルール・ライダートレーニングやトラック熟知時間に関しては以下の条件により行うことが出来る。

① MiniGP 開催サーキットでの練習等の活動は開催日の 7 日前から禁止されています。イベントやプライベートテストの参加も含まれます。

② 但し、主催者による判断で認められた場合はこの限りではない。

③ 同一開催場所において、7 日前であっても非公式の練習走行を行う場合は参加者全員が対象の場合はその限りではない。

④ 安全性・公平性の維持と参加しやすい大会を目指します。

⑤ レース日程が走行ルール内にある場合はお問合せください。

Q3. レーシングスーツとヘルメットは指定のものですか。MiniGP でしか使えないでしょうか。また、いくらくらいで購入できるのでしょうか。

A. MFJ 公認のレーシングスーツとヘルメットでしたら使用可能です。

但し、装備の検査をするので破れていたり、ヘルメットにキズなどがあれば使用出来ません。

また、推奨メーカーの場合、修理などのサポートを受けれる場合がございます。

装備品の購入に関して、選考を通過した方にはサポート特別価格にてご購入いただけます。

正確な価格に関しては運営事務局へお問い合わせください。

Q4. バイクレンタル代は、エントリー費に含まれてますでしょうか？

A. バイクのレンタル料は、エントリー費用に含まれます。

タイヤ、オイル、ガソリンも含まれます。但し、転倒による大きな破損は主催者もしくは競技監督の判断で、費用負担が発生する場合がございます。

Q5. エントリーは、もし都合がつかなくエントリーをキャンセルする場合は可能でしょうか？

A. エントリー登録完了後は原則キャンセルは出来ません。

ただし、状況によっては運営事務局の判断後にキャンセルを受け付ける場合がございます。

Q6. 公式な最新情報は、何処を見て確認すれば良いですか？

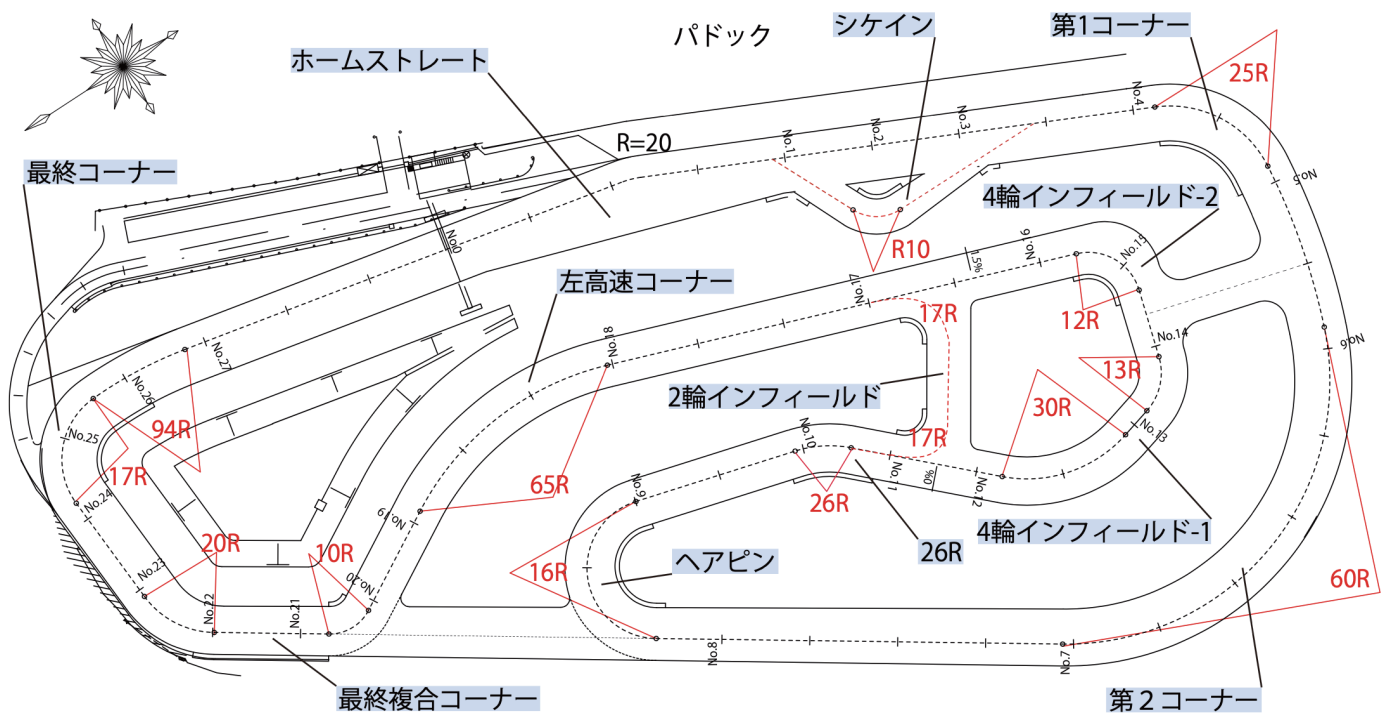
A. 公式サイト (<https://www.minigp.jp>) でご確認できます。

2025 FIM MiniGP Japan Series

サーキット名

筑波サーキット コース1000

〒304-0819 茨城県下妻市鎌庭 2062-10



- 全長 2070m
- ホームストレート 253m
- バックストレート 193m

筑波サーキットコース1000

公式サイト

右記QRからご覧いただけます。



FIM MiniGP
JAPAN SERIES

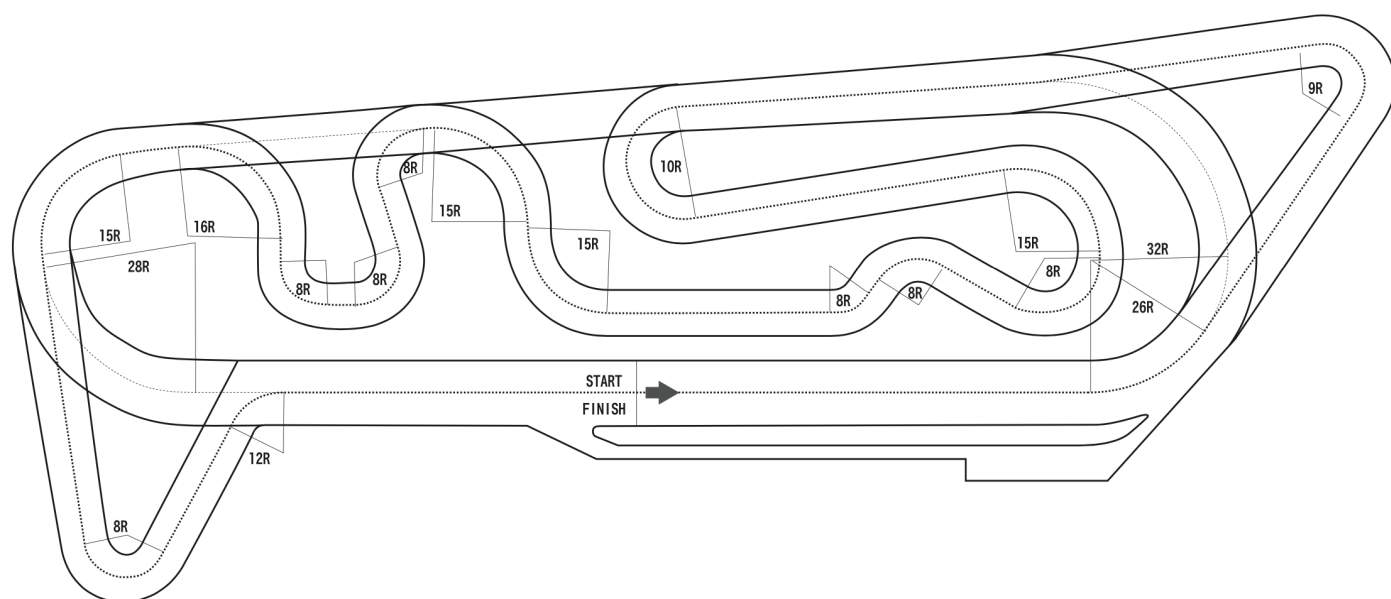
大会スケジュール	第 1 戦	第 2 戦	第 3 戦	第 4 戦	第 5 戦
開催日 ※1大会2レース	4月6日(日)	5月18日(日)	6月29日(日)	7月27日(日)	9月7日(日)
開催地	筑波サーキット コース1000	MotoUP 桶川スポーツランド	筑波サーキット コース1000	近畿スポーツランド	MotoUP 桶川スポーツランド

2025 FIM MiniGP Japan Series

サーキット名

MotoUP 桶川スポーツランド

〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷字上野 7921-3



桶川スポーツランドロードコース

最大直線 155m コース幅 6~12m
最長コース 840m 最大高低差 1.3m

MotoUP 桶川スポーツランド

公式サイト

右記QRからご覧いただけます。

FIM MiniGP
JAPAN SERIES

大会スケジュール	第 1 戦	第 2 戦	第 3 戦	第 4 戦	第 5 戦
開催日 ※1大会2レース	4月6日(日)	5月18日(日)	6月29日(日)	7月27日(日)	9月7日(日)
開催地	筑波サーキット コース1000	MotoUP 桶川スポーツランド	筑波サーキット コース1000	近畿スポーツランド	MotoUP 桶川スポーツランド

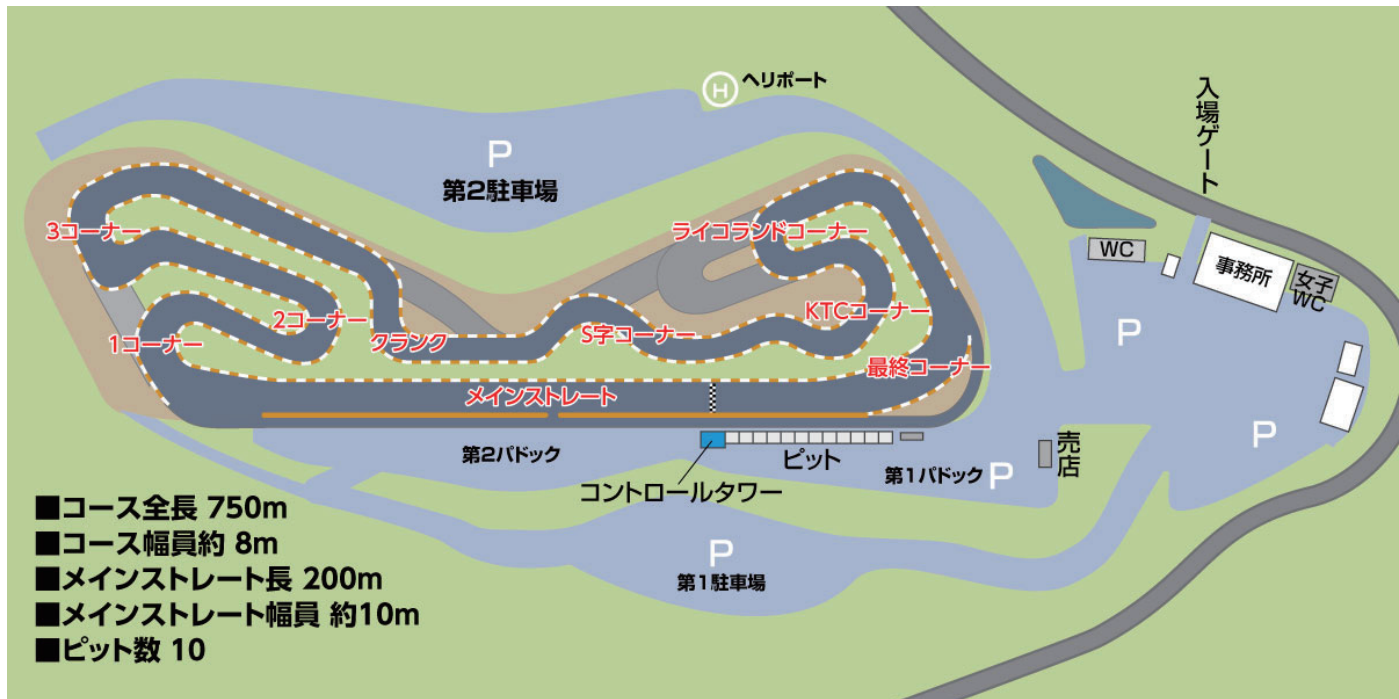
開催コースガイド

2025 FIM MiniGP Japan Series

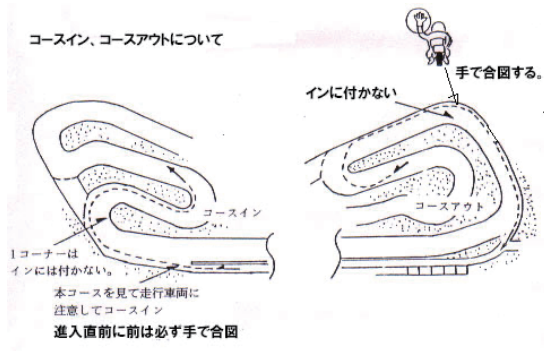
サーキット名

近畿スポーツランド

〒610-0251 京都府綴喜郡宇治田原町高尾栢尾 10



- コース全長 750m
- コース幅員約 8m
- メインストレート長 200m
- メインストレート幅員 約10m
- ピット数 10



近畿スポーツランド

公式サイト

右記QRからご覧いただけます。

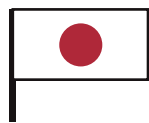


FIM MiniGP
JAPAN SERIES

大会スケジュール	第 1 戦	第 2 戦	第 3 戦	第 4 戦	第 5 戦
開催日 ※1大会2レース	4月6日(日)	5月18日(日)	6月29日(日)	7月27日(日)	9月7日(日)
開催地	筑波サーキット コース1000	MotoUP 桶川スポーツランド	筑波サーキット コース1000	近畿スポーツランド	MotoUP 桶川スポーツランド

公式シグナルについて

国 旗



レーススタート
(通常シグナルで示す: レッドライト消灯)

青 旗 (ブルーフラッグ)



後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される状態にある。

緑 旗 (グリーンフラッグ)



- ・ コース規制の解除ならびに、提示ポストから黄旗の解除を示す。
- ・ レース以外の走行の1周目に各ポストで表示される。
- ・ ウォームアップラップのスタート合図。

赤 旗 (レッドフラッグ)



競技中断すべてのライダーは低速で最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。

赤ストライプ付黄旗



雨以外の理由でコース表面が滑りやすい状態。(オイルや落下物がある可能性も含む)

白旗 (ホワイトフラッグ)



前方に救急車両等の介入車両に遭遇することを示す。白旗表示位置から介入車両を追い越すまで他のライダーの追い越し禁止。

レッドクロス (赤い斜め十字の入った白旗)



コース上のこの付近において、雨が降り始めたことを示す。

ライドスルーボード



ボード

当該ライダーは、レース中、ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。通過後、当該ライダーはレースに復帰することができる。ライダーはピットレーン速度制限を遵守しなくてはならない。

黄 旗 (イエローフラッグ)



・ 前方コース及びコースサイドに障害物やその他危険な状態であることを示す。
1本振動: コースサイドに危険な状態を予告
2本振動: コース上に走行を妨げる危険性の予告・減速、停止準備・追い越し禁止。

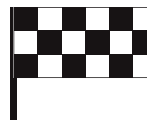
黄旗+白地に黒文字のSCボード



ボード

セーフティーカー介入によるレースの非競技化(注意・減速・追い越しは禁止)指示された車両以外セーフティーカーの追い越し禁止。1列で走行すること。

チェッカーフラッグ



レースまたはプラクティスセッション(公式予選等)の終了。

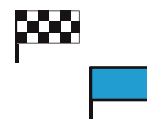
黒旗+白文字ナンバーを付したブラックボード



ボード

当該ライダーに速やかにピットインの指示を示す。

チェッカーフラッグ+青旗



ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップライダーの直前に他のライダーが走行している場合、トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーはもう1周することを示す。

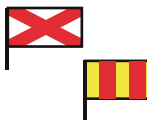
オレンジボール旗+黒地に白文字のサインボード



ボード

サインボードで示された番号の車両は、彼自身、及び他のライダーに危険を及ぼす可能性があり、速やかにコースから離脱し、安全な場所に停止しなければならない。

レッドクロス+赤ストライプ付黄旗

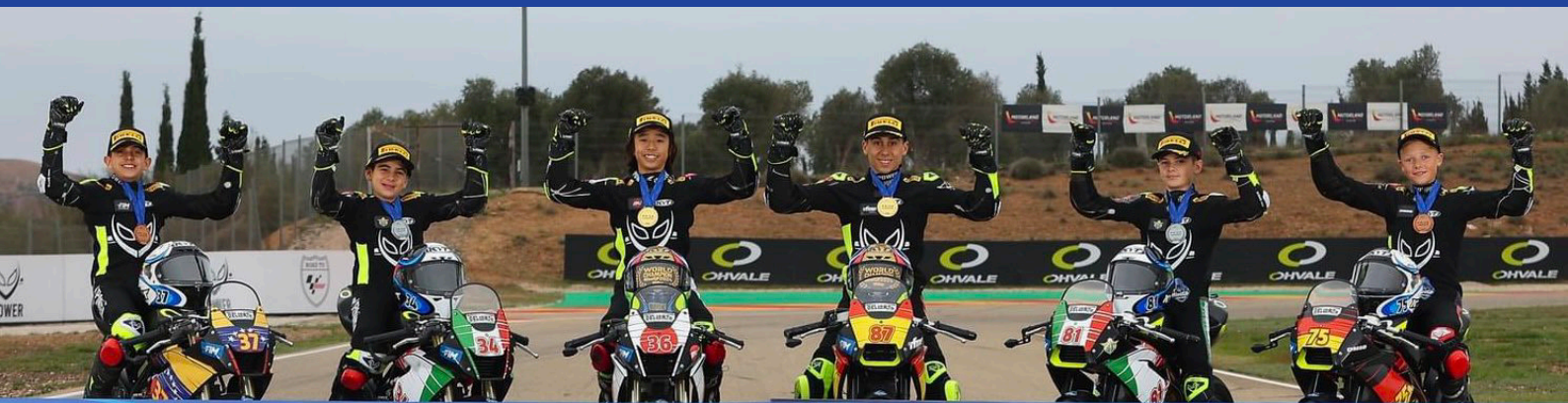


コース上のこの付近において、雨が降り続けていることを示す。

白黒斜分割旗



静止前方にスロー走行車両があることを示す。振動前方のスロー走行車両と走行ラインが重なる可能性を示す。



2024 FIM MiniGP WORLD SERIES

世界へ走れ。



FIM MiniGP
JAPAN SERIES

[問い合わせ先] MiniGP Japan Series 運営事務局

Mail : minigp-jp@p-up.world

TEL : 03-3870-0099

〒120-0034 東京都足立区千住1丁目4-1 東京芸術センター11F

営業時間 : 9:00~17:00 (土日祝除く)



P-UP World

[主催] 株式会社 P-UP World

〒120-0034

東京都足立区千住1丁目4-1 東京芸術センター11F



X (旧 Twitter)
@MiniGP_JP



Facebook
MiniGP.JP



Instagram
@minigp_japan



TikTok
@minigp_japan



YouTube
FIM MiniGP Japan



<https://www.minigp.jp>



[運営] 株式会社 Moto-UP

〒339-0056

埼玉県さいたま市岩槻区加倉4丁目25-1

